

第 58 回 愛山会ハイク(菩提山)報告

- 1 目的地 菩提山 (401m)
- 2 実施日 令和5年11月4日(土)
- 3 天候 晴れ
- 4 参加者 7名
内田憲男 加藤英治 近藤涼 神野秀雄 津金倫明
橋倉政文 鈴木慎吾

5 当日の状況

前月に続き2回目の秋のハイキングで、戦国時代の軍師「竹中半兵衛」の父竹中重元が築城した菩提山城跡の残る「菩提山」にハイキングに出かける。やや霞んではいるものの秋にしては暑いくらいのいい天気である。

午前9時半前、JR東海道線の垂井駅前に7名の参加者が集合する。竹中半兵衛の銅像の建つ駅前から登山口まで2台のタクシーに分乗して移動する。菩提登山口でタクシーを降り、午前9時半過ぎ階段を登って歩き始める。芭蕉の句碑を過ぎ、白山神社横を通り、尾根筋まで杉林の中の道を登っていく。尾根道を40分ほど登り、送電線鉄塔の建つ分岐を過ぎて登っていくと、各所に菩提山城跡の土塁や曲輪が残っている。最後の坂を登りきり、午前11時前、展望の開けた菩提山山頂に着く。

東側が開けた山頂からは、北に池田山や眼下に広がる垂井の街を隔てて、南宮山や養老山方面が見渡せる。木の間からは伊吹山山頂も少し見えている。3,4組のハイカーが三々五々に憩っている山頂で、昼食を兼ねてゆっくりと休憩する。

のんびりと休憩した後、午前11時半下山にかかる。途中から左に折れて大手道を下る。40分ほど下り、鳥居をくぐって大手道登山口に降り立つ。横にある竹中氏歴代の墓所のある「禅幢寺」に立ち寄る。さらに車道を歩き、櫓門の残る竹中氏陣屋前を通り、相川に沿って垂井の街中を抜け、午後2時過ぎJR垂井駅に着き、本日のハイキングを終了する。

菩提山城跡は、東西150m・南北300mもあり、戦国時代の智謀の軍師「竹中半兵衛」が治めた西美濃地方では最大級の山城で、各所に土塁や曲輪などが残っており、見どころが多かった。また、麓には禅幢寺や竹中氏陣屋跡も残っていた。秋の一日、歴史探訪を兼ねた楽しいハイキングであった。(鈴木 慎吾)



